

# 10.20 三里塚 決起 11月

## 労働千葉

85. 10. 9

No. 2059

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

### グラつき 始めた 中曽根を三里・国鉄で追撃だ

反動・中曽根を打倒するの可否かのかかった決戦の秋に突入した。中曽根は今やグラグラだ。今ここで三里塚闘争が大爆発し、われわれがストライキで決起すれば中曽根を倒すことは全く可能だ。10・20三里塚五割決起貫徹、十一月ストで中曽根打倒へつき進め。

三里塚闘争二十年の正念場だ

三里塚二十年の正念場がおとずれている。政府は八月二五日出した第五次空港整備計画において、三里塚二期に五年間で四千二百億円の予算を計上し、一九九〇年完成を打ち出し、今秋を二期本格着工のギリギリのタイムリミットとしている。その攻防の最大の焦点が成田用水と東峰十字路裁判だ。

だが、肝心の成田用水は、浜田幸一の手先であり、選挙違反で公民権停止となったフダツきの悪質元県議を中心とする右翼土建グループが名のり出ているもの。今だに施工業者が決まらず、破産寸前。東峰裁判も、十万人署名、一千万円カンパの達成に示されるように、全国で権力の暴虐への怒りが拡大するなど、反対同盟の不屈の闘いの前に、敵の攻撃はことごとく打ちやぶられている。勝利への絶好のチャンス到来だ。

中曽根は労働者・人民の決起を死ぬほど恐れている

中曽根は、もはや後がない。GNP問題、改憲問題で国民に挑戦し、つまづき、党内抗争が再燃し、加えて、日米経済対立の激化は、「ロン・ヤス」関係の崩壊へと向うなど、これまで極反動として決めたことをおし通してきたがゆえに成立していた中曽根政権は危機に直面しグラグラだ。

決めたことが通ってきたのは、中曽根のあまりの凶暴さに人民の側がたじろぎ

反撃しなかったからだ。しかしもはや通用しない。

五割決起―大ストライキで中曽根に引導をわたせ

中曽根の最大の攻撃点である三里塚と国鉄でわれわれが決起することで中曽根に引導をわたしてやろう。

10・20五割動員をかちとり、三里塚二期阻止の突破口を切りひらき、その力で十一月首都圏をゆるがす大ストライキを貫徹し、中曽根打倒へつき進め。

**焦点 NO-34**

揺れるイギリス帝国主義―追いつめられた反動サッチャー

燃え上る車と権力者の怒り

機動隊の衝突、警官死亡



「どんづまりの体制的危機失業率14%に追いつめられた反動サッチャーの「力の政変」弾圧一本やりの戦争政治に労働者人民の怒りは臨界点で激しく爆発している。不採算鉱山20箇所の合理化に反対して始った炭労スト(84.3.11~85.3.5)は、一万人の逮捕、4名の産役流血の弾圧に抗して、39日間の英雄的に闘われサッチャーを追いつめ労働者人民の決起を促した。世界の「三凶悪」レーガン、中曽根、サッチャーの足元がグラグラと揺れている。